令和元年　昭和第一同窓会　「昭和第一同窓会館」設立事業計画

各　位

同窓生会員の皆々様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
昭和第一同窓会は設立 70 周年を迎え、70 周年記念５代事業も皆様のお陰をもちまして盛大に執り行う事が出来ましたことを、心より感謝申し上げる次第です。

さて年号が令和になり同窓会としましては、この記念すべき時期に「昭和第一同窓会館」設立一大事業を計画、遂行しております。

「同窓会館」設立に向けて

同窓会館の設立については同窓会創立以来、何度も構想されておりましたが諸事情により自立した会館は開設までには至りませんでした。今期、会館設立の再構想が起きましたのは 3 月に同窓会室移動の事があり、現状況の中で会館設立の時期として学園との協力を得られ「同窓会館」設立案の構想が協議される事になりました。

令和 1 年 9 月 22 日令和 1 年度総会,議案事業計画案に於ける「同窓会館」設立に向け活動する件が承認され、準備委員会が正式に発足。11 月 12 日第 3 回常任委員会・合同会議においても準備委員会の設立計画案に対し一任する事で承認を得ました。

主旨：「同窓会館」は同窓会の母体となり同窓生の為の同窓会を目指し、自立した運営活動を行い発展,繁栄に勤め,会員相互の親睦と母校の発展に貢献するものとする。

この時期での立案理由

○　設立 70 周年を迎え、新年号令和になり大きな事業が無い事。
○　財政面において予算が取れる時期である事。
○　予定地が第一条件(学園隣接地)の学園正門前である事。
○　世代交代の時期が来ている事。
○　同窓会の活性化、発展、将来に向けての動向が開ける事。
○　青年部を中心に若年者層を取り組む活動が活発になる事。
○　学園の諸活動、諸行事に多目的ホールの有効活用を共有する事。

「同窓会館」設立準備委員会組織

○　委 員　長：安藤観一郎
○　副 委員長：村川天勇、諸星隆之
○　事務･庶務：安藤利秋、設楽一俊
○　財務･会計：佐藤末伸、安田良和
○　委員･運営：肥沼憲昭、鈴木誠三郎、中里幹夫、小宮浩、川上厚
○　相 談　役：井上博行学園顧問、（地主,不動産）仲介相談役 松本禎之学園常務理事

＊ 同窓会の一大事業「同窓会館」設立に向け、学園及び関係各者、同窓会会員皆様の絶大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和 1 年 12 月吉日

昭和第一同窓会「同窓会館」設立準備委員会一同